

ごみ収集やリサイクル資源回収の コスト削減について

区が掲げる「ごみ減量・資源循環の促進」施策、これは大変重要ですが、同時にごみ収集や資源回収のコスト減という視点も重要だと考え質問しました。理由は2つありました。1つ目は、台東区ではごみの戸別収集が段階的に始まっており、収集コストが余計にかかるのではないかとという単純な疑問から。2つ目は、初期のリサイクル関連の法律は地方自治体の負担の度合いが大きくなっており、国に対し、制度改革、負担減の要望書を提出しているにもかかわらず、台東区自らコスト削減を掲げないのは無責任ではないかという視点から。議員会館に勤務していた衆議院議員秘書時代、地方自治体からたくさんの要望書が届きました。自らも努力しているけれども、財源・権限等がなくてできないものと、国に最初から丸投げし自ら主体的に取り組む気がないものは容易に区別がつかます。環境分野そのものに対してではなく、環境分野を例に責任ある台東区という視点から提言しなかったのです。行政側は、コスト削減を明示しなくても、戸別収集により、ごみが減ることによってコスト削減にも繋がっているとしています。それはその通りだと思いましたが、結果としてコスト削減ではなく、個人的にはコスト削減を計画の中に明示し、柱に据えていただきたかったと思います。

長期総合計画の効果的な実施のために

長期総合計画は今後10年間にわたって区政運営の最高指針となる計画です。その間、2回の区長・区議会議員選挙を行うこととなりますが、真正面から長期総合計画に反する政策は採りにくく、政治的に極めて重い拘束性を持ちます。だからこそ、あらゆる立場の人の意見がバランスよく反映され、かつ具体性も持つ優れた計画を策定の段階で作りに上げる必要があります。そういった問題意識を持ち、法学（法務ではない）を専門としてきた立場から、長期総合計画の実効性を強化するための質問をしました。優れた長期総合計画といえるためには、長期総合計画それ自体をしっかり作り上げるだけでは不十分です。全条例・計画体系の中の位置づけ、他の条例・計画との適用関係、時の経過とともに起こる事情の根本的な変化、廃止・終了のことまで考える必要があります。さらには長期総合計画で扱っていない事項との関係も重要です。長期総合計画は、区が掲げる基本理念を実現するために策定されますが、その理念を実現するための施策は長期総合計画に規定される施策だけではありません。行政の説明でも区の全事業の取り組みをここに載せることはできないと言っています。当然のことです。パブリックコメント手続き等においても「これもやってほしい」「あれが書いていないのはなぜだ」等の意見が寄せられるでしょう。議会でも区民のニーズを代弁することが行われるでしょう。だからこそ長期総合計画で扱っていない事項の取扱いに関する規定を一言盛り込むことで、色々な意見があっても長期総合計画を安定的に押し進める根拠となり、長期総合計画の体系や実効性も担保されると考えました。

最後に

経験豊富な人生の諸先輩方の中であって、ひと際若い31歳の若輩者が発言することに、正直、色々なご意見がございました。しかし、台東区在住ではない研究者の先生方が台東区のために一生懸命審議に参加して下さる姿を見て、私もひとかけらの勇気を振り絞って審議に参加しようと決心いたしました。「強い力、立ち塞がるとう諦めはしない」。大好きな宝塚の曲の一節です。限られた審議時間の中で、毎回20人程の委員がそれぞれの立場で発言するので、一人一人に与えられた時間はごくわずかでした。その中であって、細かい内容よりも、長期的な視野に立って、今後、台東区が向かうべき方向は何かを常に意識しながら会議に臨みました。私には問題意識を有していること、やりたいこと、実現させたいことが山のようにあります。今回、質問をしたけれども取り入れていただけなかったことにも、皆様からの負託をいただき、権限を持った形で行政と議論し、再挑戦したいと思っています。一つ一つ着実に区政を進めていきたいと思っています。皆様、どうか私に力をお貸しください。

審議過程、会議録等、詳しくは区のホームページをご覧ください。私も審議に関わった当事者として、皆様に生の情報をお伝えできると 생각합니다。台東区をより良くするために、皆様のお話を伺いたいと思っています。是非、対話をしましょう。

2. スポーツ推進委員として

～健康増進や生きがいづくりのためのスポーツ普及活動～

スポーツ教室や体力測定イベントの企画・運営、スポーツに関する行事や事業への協力を行っています。区におけるスポーツは、地域とのつながりを実感できる点が魅力だと思います。台東区にも「総合型地域スポーツクラブ」が設立されます(旧田中小学校にて)。これは地域住民が運営するスポーツクラブで、子どもからお年寄りまで誰もが参加でき、地域の人に身近な場所で日常的にスポーツを楽しむ機会を提供するものです。都や区は、1週間に1回以上スポーツをする人の割合を7割にする目標を掲げていますが、まだ達成できていません。スポーツに触れる機会の増大にも寄与できると思います。また、スポーツ教室やスポーツイベントに関する情報をさらに体系的に提示することができるようになります。



私は、スポーツ分野を含む社会教育分野を重視しています。体育館などの学校施設は学校教育のみ利用されるものではありません。すべての人が利用しやすい環境づくり(冷暖房やバリアフリー設備の整備、蚊の駆除等)に努めてまいります。

3. 男女平等推進プラザ運営委員として

～広げよう人生の選択肢～

自民党が党としてあまり目を向けてこなかった分野ですが、安倍政権は目玉政策の一つとして「女性の活躍促進」を掲げています。子育て支援等もこれに含まれます。名称はともかく、このような方向性にある政策を推進することで人生の選択肢を増やすお手伝いをしたいと思っています。



台東区では超党派の女性議員が中心となり、男女平等推進基本条例が可決・施行されました。(平成27年1月)。基本条例の理念を実現するための具体策が今後必要となります。私は人権の観点のみならず経済の観点からも考え、さらには「働き方を変える」方向性にあるものとしても捉え、政策を実行していきます。また、やや曖昧ですが「保守らしさ」も大事にしたいと思っています。

○選択ができる社会

母も祖母も専業主婦です。家庭を守り、どんな時も私たちのそばにいてくれました。振り返ってみると、母が専業主婦としていつも近くで見守ってくれていたのは幸せだったと思います。「女性は家庭を守る」という考えには反対です。しかし、「家庭を守る女性」になるという選択は尊重されなければなりません。繰り返しになりますが、大事なことは選択ができる社会をつくることだと思います。

4. 消防団員として

～自分たちのまちは自分たちで守る～

消防活動や台風・豪雨警戒活動はもちろんのこと、平時における応急手当等の講習や消防操法等の訓練、地域の祭り・イベントや年末の警備・警戒活動を行っています。地域防災力を高めるための広報活動や防災訓練の際の住民指導も重要な任務です。

地域防災力の向上は台東区の最優先課題です。東京都と連携し、地域防災の要である消防団がさらに活動しやすい環境を整えます。若者・女性の団員確保、分団施設や装備の充実等はもちろんのこと、特に被雇用者が消防団に参加しやすい環境づくり、被雇用者消防団員を抱える事業所との連携強化を進めます。

